

# 県代表に松尾さん(島原市立第二小6年) 2年ぶり2度目

## プログラミング全国大会へ 賞状など授与



本番さながらにプレゼンテーションをする松尾さん  
＝長崎市茂里町、長崎新聞社

独自のプログラムで作ったアプリやゲームなどを競う「2024年度全国選抜小学生プログラミング大会」の県代表の表彰式が26日、長崎市内であり、島原市立第二小6年の松尾光さん(12)に長崎新聞社から表彰状が贈られた。大会は同社や共同通信社などでつくる全国新聞社事業協議会が主催。「みんなのmirai」をテーマに募集し、4作品の中から松尾さんの「一次産業を始めよう!!」を選出した。松尾さんが県代表になるのは2年ぶり2度目。

松尾さんは、一次産業の従事者減少を食い止めたという思いで昨年1月からアプリの制作に着手。ミニゲームやカード収集などを通じ、一次産業の良さを知ってもらう内容になっている。

式では3月2日に東京で開かれる全国大会に向け、本番さながらのプレゼンテーションを出席者に披露した。松尾さんは「2年前よりいい賞をもらえるよう、もっとプレゼンを練習したい」と意気込んでいる。

(山口栄治)